

令和7年12月5日

実験実習機器センター
利用者各位

実験実習機器センター長
高澤 啓

凍結組織標本の免疫組織化学染色 受託サービス開始のお知らせ

日頃から当センターの運営に関しまして、ご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、当センターにおいて、12月1日より凍結組織標本の免疫組織化学染色（IHC）受託サービスを開始いたしました。

免疫組織化学染色（Immunohistochemistry : IHC）は、抗体を用いて組織内の特定のタンパク質（抗原）を特異的に検出する基盤技術です。これにより、顕微鏡下でタンパク質の正確な局在を可視化でき、医学研究はもとより、病理学的診断においても幅広く活用されています。しかしながら、IHCの染色作業は高度な専門知識と膨大な時間を要するため、多忙な研究者や、研究費に制約のある大学院生において大きな負担となっています。本サービスが、皆様の効率的な研究活動の一助となれば幸いです。

【サービスの概要と留意事項】

- ・抗体のご準備：染色をご依頼の際は、あらかじめ依頼者様にご準備いただきます。
- ・免疫組織化学染色：染色作業の効率と技術職員の負担を考慮し、最低4枚以上の依頼から承ります。
- ・染色条件の検討：条件検討終了後に最低10枚以上の免疫組織化学染色のご依頼がある場合に限り、承ります。この検討には、凍結組織薄切およびHE染色（ヘマトキシリノ・エオシン染色）の工程も含まれます。

※ 染色結果の最終的な判断は、依頼者様ご自身にてお願いいたします。

【技術体制】

当センター免疫組織化学染色(IHC)受託サービスは、病理学講座 腫瘍病理分野 高澤 啓先生を技術アドバイザーとして実施いたします。

なお、準備が整い次第、FFPE組織標本の受託につきましても、順次開始する予定です。
ご不明な点がございましたら、お気軽に下記担当者までお問い合わせください。

記

| | |
|-----------------|------------|
| 凍結組織標本の免疫組織化学染色 | 1,600円/1枚 |
| 条件検討(薄切、HE染色含む) | 30,000円/一式 |

[本件担当・連絡先] 実験実習機器センター 組織室
官野 (PHS 8627)、智内 (PHS 8628)、井元 (PHS 8629)
e-mail : kiki_tissue@asahikawa-med.ac.jp